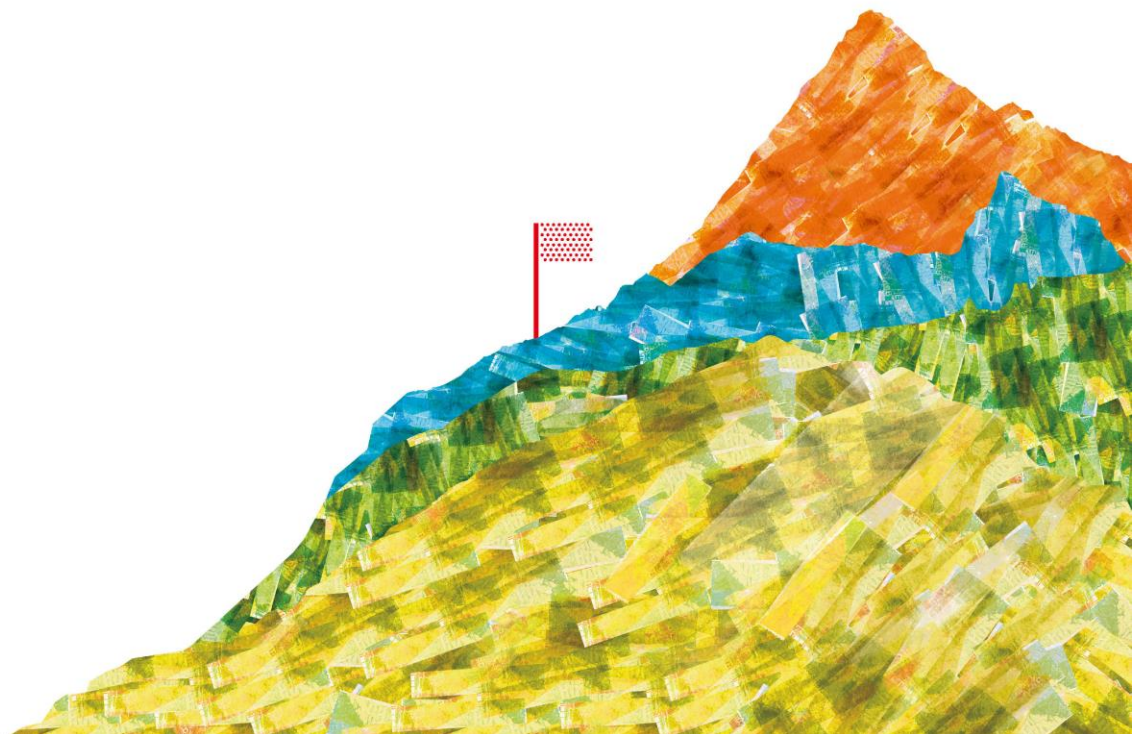


令和4年度 事業報告書

(いなばエリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和4年度事業報告書 (いなば エリア)

1 令和4年度総括 (成果、反省等を簡単に)

1) 通所事業再編

- ・相談室と現場の役割を見直したことで、業務の効率化・役割の明確化・迅速な相談対応につながっている。また、特定の人でないとできなかった業務が減り、常時フォロー体制をとれるようになった。
- ・事業所毎の独自性や横の繋がり強化が必要で、ハード・ソフト面も充実させていく必要がある。

2) 事務部門統合

- ・一つの事務所に事務職員が集まることで、業務の確認がしやすくなった。
- ・職員異動の際も引継ぎがスムーズで、その後のフォローもしやすくなった。
- ・今後の課題として、事務所内の書類整理・書式の統一を進めていく必要がある。

3) 新型コロナ対応

いなば幸朋苑

- ・介護老人保健施設・デイライフゆうゆう・グループホームにてクラスターとなった。それ以外の事業についても、入居や利用の受入れ延期、通所事業で営業休止や事業規模縮小の対応となる。

各事業所での指摘として、共有部分の空気の循環（外側に向けて空気の流れを作る）、手指の消毒、手袋やエプロンの使用方法などがあり、職員間で共有・改善した。

新しいなば幸朋苑

- ・コロナ陽性者が発症後、役職者はグループ LINE にてタイムリーに情報共有、スタッフは直ちにBCPに沿ってゾーニングが実施できた。（物品はすぐ使用できるようにセッティング）
- 特定施設と介護老人福祉施設1チームにてクラスターとなったが、最小限で解除できた。反省点としては、扇風機・サーキュレーターの使用法（首振りを行っていた）の指摘を受け改善した。

にしまち幸朋苑

- ・短期入所生活介護にしまち幸朋苑にてクラスターとなった。認定看護師等によるクラスター班現地指導を受け、施設内（特に休憩室・浴室）の換気方法を改善した。ケア方法について、続けて次の利用者をケアする場合は、ガウンの上に袖なしエプロンを着用し、一人ずつエプロンと手袋を交換するようにした。

鳥取北

- ・デイサービス鳥取北、認知症対応型デイサービスにてクラスターとなった。（10日間の営業休止）
- 消毒方法、デイルーム内の空気の流れ、循環が悪い等の指摘があり職員間で共有し改善した。

4) その他

- ・いなば幸朋苑玄関入口フロアを事務所に改装し、ケアプランセンターを一カ所に統合した。また、同じフロアに相談員も統合し相談支援室にした。このことにより今まで少なかったケアマネジャー、相談員同士の連携がスムーズにとれるようになった。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

1) 鳥取市地域福祉相談センター相談窓口

- ・介護・障がい・児童・地域等、様々な福祉に関する相談窓口として市内 23 カ所に設置
→うち 2 カ所：いなば幸朋苑・鳥取市北デイサービスセンター
相談実績（令和 4 年度） いなば幸朋苑：32 件 鳥取市北デイサービスセンター：4 件

2) 学会発表：12 題（外部発表：2 題 / 法人研究発表：10 題）

9 月 22 日	全国介護老人保健施設大会 兵庫	1 題
10 月 17 日	介護付きホーム研究サミット Web 開催	1 題
3 月 25 日	第 27 回こうほうえん研究発表会	10 題

3) 建物の改修工事（環境整備）

- ・新しいなば幸朋苑 1 階浴室・脱衣場の床材・壁紙の張替、棚を撤去し、入居者の状態に合わせた清潔で安心・安全な入浴環境の整備を実施した。浴槽に合わせたノーリフト機器を設置し、入居者・職員の身体的負担低減を図った。
- ・いなば幸朋苑玄関横のロビーを改修し、ケアプランセンター鳥取北、ケアプランセンターにしまち幸朋苑を統合し、ケアプランセンターいなば幸朋苑として事業を開始した。

4) ケアハウス新しいなば幸朋苑

- ・特定施設入居者生活介護新しいなば幸朋苑
令和 4 年 2 月 28 日付で応募した鳥取市介護保険サービス事業者公募審査の結果、定員 7 名増床の指定予定事業者として選定を受けた。令和 4 年 8 月 1 日 入居定員 36 名で事業開始。
- ・地域密着型特定施設入居者生活介護新しいなば幸朋苑
令和 4 年 6 月 30 日付で応募した地域密着型特定施設入居者生活介護事業計画の審査の結果、指定予定事業者としての選定を受けた。令和 5 年 3 月 31 日付 地域密着型特定施設入居者生活介護保険事業指定事業所として認可を受けた。令和 5 年 4 月 1 日 ケアハウス新しいなば幸朋苑はまなすを開設し、地域密着型特定施設新しいなば幸朋苑（入居定員 29 名）事業開始。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

1) I-1 顧客のクレーム分析と手順の改定

○文書化している取り決めと実践している行動（ケア内容など）に違いがないか確認し、定期的に文書改訂し、職員が共有する

○ご意見や事故の再発防止策の検証

⇒達成度：A 訪問系ではステップアップ委員会で文書を見直し、施設系では部門内での文書確認を行った。エリア内苦情対策委員会からご意見報告の共有と各事業所での水平展開・再発防止策の検討を継続している。ご意見報告がしやすい環境への変化と地域との活動再開を見据え、地域からの意見収集体制を作る。

I-2 利用開始までの時間と対応の分析

○相談から利用開始までのプロセス（相談受付・面談・契約・利用開始）を関係職種で確認し、待たせない対応

○希望する事業所で受け入れ可能でない場合の法人内事業所連携

⇒達成度：B 施設相談員の連携により、施設入所稼働率が向上。相談情報を共有することで待たせない対応ができています。通所介護の利用相談を一本化したことで利用者の希望に合った事業所を選択していただけている。施設相談員と介護支援専門員も含めた在宅相談員によるシームレス体制の確立、施設・在宅とも相談から利用開始までの対応を継続して検証が必要。

I-3 在宅における ICT 活用（在宅における見守りサービス）

○自宅で過ごすことでの不安と問題点を発見し、介護保険内サービス・介護保険外サービス（見守り機器など）の紹介を行う

⇒達成度：B ミモテの気づきを活用してチームケアの向上のための検討ができています。ICT化による業務効率（訪問介護における訪問順の見直し）ができています。

2) II-1 職場の課題を出すことのできる仕組みの再構築

○超過勤務C区分の集計と削減への意識向上・削減対策の具体化、実践結果の確認

○職種や職務による役割の整理

○全職員が加算要件を理解し、取得に繋がり得るサービス提供活動の実践ができ、加算取得に向けた評価を行う

○リフト機器・介護ロボットの使用による機器の達成率向上とノーリフト宣言の目標値達成に向けた機器の導入計画の見直し

⇒達成度：C 各事業所ともコロナ感染による長時間勤務が大幅に増加。記録・ケアプラン作成による時間外は減少。勤務表に職種・職務に応じた役割ができるよう事前に組み込んでいます。効率化を勧めつつ加算取得状況の確認をすることができました。リフト等機器の導入により施設系での使用率が向上、必要場面の理解が進んでいる。C区分（緊急・休み職員フォロー以外の時間外勤務）以外のさらなる削減。加算要件の理解度がまだ低いため、資料などの作成理解度向上方法の検討。施設系のリフト使用率70%を目指す。

II-2 職員の健康維持とワークライフバランスを確保した安心して長く働ける職場環境

(文化) つくり

○健康経営認証の取得（認定要件の確認と実践）

⇒達成度：B 喫煙所（職員）の使用禁止による喫煙者以外の職員への配慮ができた。職場環境検討委員会情報をエリアに共有している。本部健康対策室・職場環境検討委員会から得た情報を発信し、理解を深めていく。

II-3 BCPの整理・統合（活用しているものの整理）

○既存の計画から、災害や感染症があっても事業継続ができるものになっているか確認し、事業形態に合わせた事業継続可能な計画に変更する

⇒達成度：A 感染症に関するBCPについて実践したが、個々の感染対策（防護服の正しい着用・共有物の消毒の不備）が明確になった。災害に関するBCPやコロナ感染対策を参考に見直し作成した。

3) IV-1・IV-2 法人紹介ビデオ・パンフレット改定・ホームページの機能性向上

○いなばエリアの事業機能ごとで他エリアにない特化している活動（ケア・地域貢献活動など）を広報する

○いなばエリアのブログの開設（管理者・作成者・広報員の選任）に向けた準備

⇒達成度B 通所事業改編・ケアプラン統合に合わせ、いなばエリアパンフレットを更新し、営業活動に活用。ホームページ（エリア分）を定期更新した。各事業所のパンフレットを持ち、利用者獲得担当が営業活動を実施。通所の一部でインスタグラムを開設。全通所・訪問系でも開設準備を行っている。各事業所作成のパンフレットを用いた営業活動の実践と各事業所パンフレットの見直し、SNS活用の拡充と相談、新規利用者獲得とに繋がる活動をする。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和4年度（%）	令和3年度（%）	令和2年度（%）
介護老人保健施設 いなば幸朋苑	80	88.4	89.5	92.9
ユニット型介護老人保健施設 いなば幸朋苑	20	84.8	85.7	86.2
ケアハウスいなば幸朋苑	50	89.0	93.4	93.2
生活支援ハウス いなば幸朋苑	20	93.1	95.5	95.0
グループホームはまさか	9	99.5	94.5	99.4
介護老人福祉施設 新しいなば幸朋苑	50	97.7	99.0	99.5
ケアハウス新しいなば幸朋苑	34	79.9	93.8	97.4

特定施設入居者生活介護 新しいなば幸朋苑	29	96.5	98.3	99.4
介護老人福祉施設 にしまち幸朋苑	30	98.4	100	99.7
小規模多機能型居宅介護 デイハウスじゅんぷう	25	77.0	88.7	92.8

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> ○いなば幸朋苑 <ul style="list-style-type: none"> ・7/17 開苑記念 ・9/15 敬老祝賀会 ○新しいなば幸朋苑 <ul style="list-style-type: none"> ・4/10 開苑記念 ・9/17 敬老祝賀会 ○にしまち幸朋苑 <ul style="list-style-type: none"> ・7/2 開苑記念 ・9/14 敬老祝賀会
BCP 等訓練実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○5/24 水害想定避難訓練 グループホームはまさか → いなば幸朋苑 参加者 21 人 ○6/8 水害想定避難訓練 デイハウスじゅんぷう → にしまち幸朋苑 参加者 21 人 ○11/22 水害想定避難訓練（垂直避難） 鳥取市北デイサービスセンター 参加者 12 人 ○11/25 水害想定避難訓練（垂直避難） 新しいなば幸朋苑 参加者 15 人
エリア内研修状況	<ul style="list-style-type: none"> ○新人職員研修 ○エルダー会・新人体験発表 ○感染対策研修会（感染予防・手洗い） ○認知症・DCM 研修会 ○法令遵守・プライバシー保護研修会 ○身体拘束・高齢者虐待研修会 ○接遇・コミュニケーション研修会 ○看取り研修会 ○腰痛予防・ノーリフティング研修会 ○リスクマネジメント研修会
エリア内会議、委員	【月例】

<p>会活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○拠点連絡会議 ○エリア内調整会議 ○支援委員会 ○看護部会 ○教育研修委員会 ○苦情対策委員会 ○サービス連携委員会 ○感染褥瘡対策委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○IT/広報誌作成委員会 ○定例会 【定期】 ○苦情解決第三者委員会（2回/年） ○ISO委員会 ○身体拘束適正化委員会 ○給食委員会
<p>委員会活動等の 成果・実績・反省</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○支援委員会：ノーリフト部会、認知症部会、排泄部会の3部会で活動。ノーリフト部会では全エリアで発生したリフトに関する事故、リフト操作について水平展開、注意喚起実施。認知症部会による全事業所の認知症症状による難渋事例等検討、排泄部会によるリリアムスポットの試行検証等は各事業所の希望なく活動展開不十分。部会の年間活動計画の立案に加え、各部署の困難事例、成功事例、業務上の課題等の活発な発信・共有に繋げるシステム作りが必要。 ○看護部会：毎月の誤薬件数・新型コロナの感染状況や対策について情報共有を実施。誤薬件数についてR4年は7件。うち人間間違いが4件であった。服薬マニュアルに沿った服薬方法の徹底が課題である。新型コロナ対応では、ワクチンの接種状況や各部署のコロナBCP進捗状況についても情報交換を行い、スムーズに進むよう助言や意見交換ができた。来年度も誤薬ゼロへの取り組み、部署に適した効果的な感染対策について取り組んでいく必要がある。 ○教育研修委員会：エリア研修参加延べ人数876人（前年度1156人）前年度比減について新型コロナウイルスのクラスターなどが影響と考えられる。このような状況を鑑み、zoomを利用したオンライン研修の併用、研修動画を試験的にEラーニングシステムにアップ、アンケート回答をオンラインフォームに変更等ITを用いた取り組みを実施。これにより、受講率の拡大と効率的な研修体系の確立を目指す。 ○苦情対策委員会：令和3年度の件数（9件）に対し、今年度は、20件と多く、主に情報伝達に関するご意見が多く上がっていた。コロナ禍のため、利用者家族は面会制限もあり、職員とご家族とのコミ

	<p>コミュニケーション不足にならないように努めていく必要がある。ご利用者の状態やサービス提供等に変化・変更がある際は、適切に情報伝達を行っていく。今後も各部署から上がったご意見を水平展開し、同様のご意見に繋がらないよう、サービスの質の向上へ向け取り組んでいく必要がある。</p> <p>○ISO 委員会：内部監査（R4.8）、サーベイランス審査（R4.11）委員会に対する内部監査（R5.2）を実施。監査結果により、改善の機会のフォローアップ、実施状況の確認と改善提案を行う。令和4年度より、令和3年度内部監査員養成講習受講者6名を委員に含める。経験あるISO内部監査員とペアを組み、内部監査・ミニ監査によりOJTを実施。令和5年度は、内部監査員の質の向上を目指し指針を改訂し活動強化する。</p> <p>○サービス連携委員会：居宅・相談室・通所事業再編（R4.10）、再編前は協力して利用者対応など行っていたが、再編後はそれぞれでの活動のみになり、委員会としての機能は果たしていなかった。</p> <p>○感染褥瘡対策委員会：新型コロナ発生状況を共有。小規模事業所や在宅サービス部門では対応に苦慮している現状あり。各部署で協力しあい、物品の貸し借りも含め、なんとか乗り切っている現状。新型コロナ終息後も引き続き各部署の相談、協力体制は継続できるようにする。令和5年度より毎月褥瘡感染の発生状況を集計し、委員会全体で共有する。</p> <p>○リスクマネジメント委員会：法人リスクマネジメント委員会からの情報を共有し、いなばエリアの事故事例検討を実施。 事故事例検討後の振り返りが実施出来ていない、不十分な部分があった為、令和5年度は事故事例検討後の振り返り、未然の事故防止の意識付け・対策に焦点をあて取り組む。</p> <p>○IT/広報誌作成委員会：ホームページの活動報告のアップを月1回の頻度で実施。電子記録システム「すぐろくタブレット」、勤怠管理システム「クロノス」等ICT化が進んでいる現場において、全体の調整、職員研修を進めていく必要がある。</p>
--	--

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	○介護労働安定センター介護労働講習	上田真奈美 中野千香子
	○介護職員等の喀痰吸引等研修	講師 宮脇 将

	<p>(第2号研修)</p> <p>○喀痰吸引等研修指導看護師研修 ○鳥取看護高等専修学校</p> <p>○久松地区隣組推進員講座 ○介護技能実習評価試験 試験評価</p> <p>○山陰言語聴覚士協会生涯学習基礎講座 ○鳥取市若草学園児童発達支援事業 ○特別支援学校センター的機能充実事業 ○鳥取市ことばの相談事業 ○鳥取市母子保健事業ふれあい学級</p> <p>○県看護協会訪問看護職員養成講習会 ○鳥取県言語聴覚士会小児部研修 ○因幡万笑の会講習会 ○東部医師会園医研修会 ○こうほうえん出前講座</p>	<p>大西 亜古 高野 将幸 講師 中野千香子 講師 村田 律子 中野千香子 講師 池本 圭子 講師 石井 陽介 中村 有希 講師 赤峰 孝宏 講師 森田 愛 講師 松田 美穂 講師 松田 美穂 講師 森田 愛 松田 美穂 講師 山本 美晴 講師 松田 美穂 講師 松田 美穂 講師 森田 愛 講師 濱口 和史 赤峰 孝宏 澤田 直美 青木 実穂 手島 範子</p>
<p>外部役職就任状況</p>	<p>○鳥取県介護保険審査会専門調査員 ○鳥取市認知症初期集中支援チーム員 ○鳥取県東部医師会裁定委員 ○東部圏域栄養管理情報連携サポート事業検討会委員</p> <p>○鳥取県言語聴覚士会 理事</p> <p>○鳥取県小児保健協会 理事 ○東部保健医療圏地域保健医療協議会委員 ○鳥取県栄養士会 理事 ○鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議委員</p>	<p>中野千香子 池本 圭子 岸 清志 岸 清志 小倉久美子 山本 美晴 赤峰 孝宏 森田 愛 森田 愛 森田 愛 小倉久美子 小倉久美子</p>

	○鳥取県介護支援専門員連絡協議会東部支部理事 山根 樹美
外部表彰受賞状況	○鳥取市社会福祉協議会表彰 石井 陽介 萩原 元気 ○社会福祉施設・団体（職員）功労者表彰 安住 友世 長谷川陽子

7 地域貢献実績（保育所含む）

実習受け入れ実績 延人数 255人	岡山医療福祉専門学校 鳥取県立鳥取看護専門学校 鳥取県社会福祉協議会 鳥取県立産業人材育成センター 鳥取市医療看護専門学校 鳥取看護大学 鳥取社会福祉専門学校 鳥取県看護協会 鳥取大学
ボランティア受け入れ実績 延人数 6人	鳥取敬愛高等学校（間接業務） フレアス在宅マッサージ鳥取（無料マッサージ体験会） あんしん介護相談員（訪問相談）
見学受け入れ実績 実人数 46人	利用希望者・家族 鳥取湖東地域包括支援センター
地域交流活動実績1 実施回数 0回 延人数 0人	コロナ禍で開催できず
地域交流活動実績2 実施回数 1回 延人数 6人	（地域の交流事業に利用者と共に参加したもの） じゅんぼう公民館ふれあい祭り
ボランティア・環境 活動参加実績1 投入実人数 20人	（清掃活動・消防団活動・地域防災活動等） 秋里地区資源回収 玄好町公園清掃 いなば・新しいなば周辺除草作業

<p>ボランティア・環境 活動参加実績 2 <u>投入実人数 567 人</u></p>	<p>(見守り活動・学校活動の手伝い等) 城北小学校資源回収 浜坂小学校はまっこパトロール</p>
<p>地域発信活動実績 (介護、看護の日、 イベント開催等)</p>	<p>コロナ禍で開催できず</p>
<p>地域発信活動実績(認 知症サポーター養成講 座)</p>	<p>講座回数：3回 養成者数：12人 資格者投入人数：3人</p>
<p>地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催 及び参加等)</p>	<p>城北地区サロン 中ノ郷地区サロン 城北ふらっとサロン(憩の家) 岩美町公民館(講和・体操) 佐治町人権福祉センター(講和・口腔体操) 久松地区隣組推進員(介護保険、フレイル) 老人クラブ山城町(介護保険制度 地域包括について) 鳥取県立産業人材育成センター倉吉校</p>